

常任委員会における議案の審査状況

各常任委員会に付託された議案について、主な質問と答弁をご紹介します。

◆文教民生常任委員会

【附属機関条例及び特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について】

問 新たに附属機関に加わる子ども・子育て会議の内容と構成委員は。

答 ニーズ調査などを行い、子ども・子育て支援事業計画を策定する。

委員は、国の構成を参考に保護者や学識経験者などを考えている。

【総合体育館条例の一部改正について】

問 これまで市の収入であった施設使用料を、指定管理者の収入とする利用料金制度を導入するメリットは。

答 指定管理者の自主的な経営努力を促し、施設の利用率増とさらなるサービス向上が期待できる。

問 施設の利用の仕方が、市民中心でなくなるのでは。

答 市民の利用を第一に考え、市の意向に沿わない場合は改善を求める。

◆事業常任委員会

【企業立地促進等による産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について】

問 課税免除措置に対して、普通交付税でどの程度補填されるのか。

答 免除額の75%が補填される。

問 3年間の補填だけでなく、さらなる延長を国に要望すべきでは。

答 法律では3年間となっているが、機会があれば要望したい。

【都市公園条例の一部改正について】

問 今回新たに中央公園と総合体育館を合わせた指定管理の契約をするが、契約期間中は利用料金の上限の変更はないのか。

答 上限の範囲内で指定管理者が利用料金を決定する。

【損害賠償の額を定めるに

問 給水管の漏水によるガス管の破損とのことだが、

それらの管の間隔が10cmというのは狭すぎないか。

◆総務常任委員会

【サービスタワー設置条例等の一部改正について】

問 新たな市民センターの設置に当たり、農業会館の業務はどう引き継がれるのか。

答 新センター内で業務を継続していく。

9月定例会を傍聴しませんか

◆8月27日(火) 本会議

◆8月28日(水) 本会議

◆8月30日(金)

◆文教民生常任委員会

◆9月2日(月)

◆事業常任委員会

◆9月3日(火)

◆総務常任委員会

◆9月4日(水)

◆本会議・決算特別委員会

◆9月6日(金) 10日(火)

◆決算特別委員会

◆9月12日(木) 本会議

※いずれも午前10時開会の予定です。傍聴される方は、当日、市役所新館3階議会受付へお越しください。

議会中継を



「ご覧ください！」

8月27日(火)と8月28日(水)の本会議の一般質問をテレビ岸和田で生中継します。

また、8月31日(土)と9月1日(日)に再放送します。ぜひご覧ください。

岸和田の玄関口 周辺のにぎわい創出を

その他の質問 ○課税標識を活用した観光PRについて ○空き家対策について

村野 精 議員

【問】福祉総合センターの建て替えが決定し、またその敷地が市庁舎の建て替え候補地としても最適とされた。駅周辺の活性化にどうつなげるのか聞きたい。

も含めた、全体像・将来像を描いていきたい。併せて、城周辺や旧港再開発地域も含めたにぎわいの創出も進めていきたい。

【問】4月1日より施行された文化振興条例には、文化芸術振興基本法が対象とする文化芸術を「文化」とすることが明記されている。しかし、文化芸術を強調するあまり、幅広い文化という意味が薄れてしまう。そのことを市民にどう理解してもらおうのか。

文化と理解されるものは網羅されている。文化振興計画を策定し、生涯学習との連携も含めた具体的な施策につなげていくなかで、条例の理念や基本原則などを市民に向けて発信していきたい。

地震から身を守るため 家の中の安全確保を

その他の質問 ○岸和田の産業振興、特に製造業の振興について

中井 良介 議員

9人の議員による一般質問 その1

要援護者に対する支援の環境として、災害時要援護者支援プランに盛り込めるよう検討していきたい。

【問】必ず起こる南海トラフ地震や上町断層地震に備え、被害を最小限に抑えることに全力をあげる必要がある。

東日本大震災では、職員が昼夜を問わず救助や支援に奔走したが、その後の調査で「防災計画が役に立たなかった」と答えている。職員一人ひとりの役割が明確な防災計画にすることが必要と考えるがどうか。

【答】防災計画の改定を進めるなか、和歌山大学防災教育センターの協力で、ワークショップにより職員自らが行動マニュアルを作成



想定外も視野に対策を

していく。作成後は、実際にマニュアルどおりの行動ができるのか、検証を兼ねた訓練を行う。また、地域の訓練にも職員が参加したり、人事異動にも対応できるように定期的な訓練を行っていく。